

第32回「治水の日」 慰霊・継承式典を開催しました 令和8年9月16日

利根川流域に大きな被害をもたらしたカスリーン台風による昭和22年9月16日の利根川堤防決壊から79年目となるこの日、加須市新川通地先の大利根水防センターにて、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、この教訓を風化させることなく後世に語り継ぎ、利根川の治水事業の重要性を広く理解していただくことを目的として、第32回「治水の日」慰霊・継承式典を開催しました。

御遺族による献花・黙祷



献花、黙祷の後、加須市長、久喜市長、利根川上流河川事務所長による決意文の宣誓が行われ、流域住民の命と暮らしを守るため、今後も、流域自治体をはじめ、関係するすべての皆様と流域一体となって、「令和の大改修」による利根川の治水対策に邁進していくことを誓いました。



カスリーン台風「決壊口跡」の碑

決意文 宣誓



高橋加須市長



来年度、「カスリーン台風から80年」という節目を迎えることから、これを機に、カスリーン台風の教訓を風化させることなく心に刻み、早急な気候変動への対策として、「令和の大改修」を進めることの必要性を意識していただくよう、会場ではパネルやのぼり等の展示を行いました。

関東地方整備局長 挨拶



高橋加須市長 挨拶



利根川上流河川事務所長 式辞



ご来賓代表者様による挨拶



野中衆議院議員



貴志久喜市長



利根川上流河川事務所長

